

『一生懸命』幻の新座市議会報告第105弾!



たかむらともや

③ 駅立ち日和

5月は気持ちのよい駅立ちが出来ました。暑くもなく、寒くもなく、花粉もなく・・・辛いものが何もありませんでした。真夏の駅立ちは汗だらだらだし、真冬の駅立ちは手足が凍えます。そう考えると、一番楽なのが5月の駅立ちなのかも知れません。駅に立つようになって10年が過ぎました。ひばりヶ丘でスタートしたときは150部がやっとでした。それが今では800部以上持っていつてもらえるのですから、感謝、感謝です。

最初は誰にでも渡そうとしていたのですが、途中から人相のいい人だけに渡そうと、作戦を変えました。それがよかったのかも知れません。この10年で教え子達は勿論、中学、高校、大学の先輩や後輩、そして同級生にも声をかけてもらいました。そして、数え切れない程の「おはよう」と「ありがとう」と「行ってきまーす」と「頑張って」と「応援しているよ」と「たかやん!」と握手と笑顔とハグを貰いました。本当に感謝、感謝です。

③ 負けるが勝ち

先日、「テニスゼロ和光」で若い人達とテニスをしました。大学生やコーチの球は速く、そして重く、ダブルスでは完敗しました。その後、同世代の仲間とテニスをする、球が遅く感じて、余裕のあるテニスができました。「負けるが勝ち」だと思いました。誰でも負けるのは嫌ですが、これからもどんどん若い人達に挑戦していきたいと思っています。



2014年5月31日発行



5月の川掃除は25日(日)に無事終わりました。6月の川掃除は22日(日)の予定です。持ち物は川を綺麗にしたいという心と気合だけです。栗原一丁目公園に9時集合です。どなたでも大歓迎です。③

たかやんのプロフィール



本名たかむらともや。
たかやんは五中の教え子達がつけてくれたあだ名。「教育を語らせたら、止まらない男」。東京青山で生まれ、新宿で育つ。新宿区立西戸山中学校卒、都立石神井高校卒。北海道大学3年生の時に、突然教師を目指し、新座五中の一期生、3年4組を担当する。1981年、NHKの「おはよう広場」に五中1年2組と出演。五中で10年、六中で10年、二中で1年子ども達と生きる。2014年2月、無所属議員5人で「育の会」を結成。育の会の中で「語る会」を名乗っている。月に一度の黒目川の川掃除に燃えている。「たかやん塾」の子ども達と一緒に勉強することが生きがい。好きな言葉は「一生懸命」、嫌いなものは「タバコの煙」と「弱者いじめ」。現在の体重69kg。体脂肪率は14%。いきものがかりの「笑顔」を聴きながら毎月100キロ、年に1000キロ走り、テニスで日本一になる日を夢見ている。③

たかやんの応援団 で 検索

たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ 全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会

6月1日(日)に埼玉県支部設立総会が行われます。厚労省は、子宮頸がんワクチン接種後に発生している疼痛や運動障害などの副反応について被害実態の十分な調査も行わず、接種時の疼痛の刺激や不安が惹起した「心身の反応」であると結論をまとめました。被害者の少女達は全身の激しい疼痛、運動障害、高次脳機能障害などの多様な症状に長期間に渡って苦しめられており時が経つほど症状が悪化し、自分の名前さえ分からなくなってしまうケースもあるのです。

子宮頸がんワクチンの定期接種は税金の無駄遣いというだけではなく、子ども達の未来を奪う可能性がある政策です。横浜市では6月1日から、市独自に子宮頸がんワクチンによる副反応被害者への支援事業を開始します。新座市でも副反応被害者への支援を行うべきだと思い6月議会の一般質問で取り上げます。これ以上被害者が増えないように共に、働きかけていきましょう。

③ 脱法ドラッグに注意！

若者の間に脱法ドラッグが広がっています。麻薬と効果は同じだったり、それ以上のことも。そして一度依存症になると、それが治ることはないという脱法ドラッグ。タバコと同じように軽い気持ちで脱法ハーブを吸って、取り返しの効かない脳になってしまう若者が激増しているのだそうです。金儲けの為に若者を餌にする大人がいて、軽い気持ちで手を出す若者がいるのです。脱法というのは法律が追いつかない成分を含んでいるだけで、覚せい剤以上の強さの脱法ドラッグもあるということですから恐ろしい話です。なんとしても子ども達を脱法ドラッグから守らなくてはなりません。

タバコもアルコールも薬物も若ければ若いほど、依存症になる可能性は高くなるのですから、大人が気をつけなくてはなりません。

子ども達の脳を守るためには、タバコの煙も吸わせないようにしたいものです。市内で受動喫煙が減っていくように、黒目川や柳瀬川の遊歩道での喫煙禁止を6月議会の一般質問で取り上げます。

③ 朝の集団登校は危険です！

子ども達の朝の集団登校を4年間見守ってきました。結論をいうと非常に危険です。真面目な班ほど、子ども達は班長さんの後ろに一直列に並びます。そして、前の人の足元を見て歩くのです。

その一方で、車の運転手は(バイクや自転車も)携帯やスマホを見ながら運転する人が激増しています。埼玉県警は日本で一番人手が足りないらしいのですが、大型道路に100億もかけるお金があるのなら、警察官を増やして県民・市民の命を守る取締りをしっかりとやって欲しいところです。東京都では「児童の安全のために集団登校はしていません」という学校が多いのです。取り返しのつかない悲劇が起きてからでは遅いので、6月議会ではこのことも取り上げます。



しっかりとした班長さんはちゃんと右側を歩いてくれます。後ろの子達もそれに続きます。本当は歩きながら車やバイクに気をつけるというトレーニングが大切なのに、できていないのです。どういう人が地域で見守り、声を掛けてくれているのか、どういう人が安全なのか、自分で感じる力を育てるトレーニングも大切だと思います。



僕の生きがいがたちです。この時期はまさにゴールデンエイジ。何でも脳みそに吸収されていきます。③